

Attention information

データライブ株式会社

富士通製のPCサーバ「PRIMERGY」 メーカー保守契約が切れても対応OK

サーバ保守サポート業務を展開するデータライブ株式会社（東京・文京、山田和人社長）は、先月15日からメーカーとの保守契約ができなくなった富士通製のPCサーバ「PRIMERGY（プライマジー）」についても新たに保守サービスに対応したと発表した。

サポート切れや故障時、パーツ入手に対応

データライブはこれまで、メーカー保守切れIT機器のEOSL（End of Service Life）/EOL（End of Life）ハードウェア保守サービスを行っており、

オラクルやヒューレット・パカード（HP）、シスコシステムズ、IBM、デルなど海外ベンダ製品を中心に対

安価でシステム延伸が可能に

応してきた。このほど、富士通製のPRIMERGYにもサポート対象を拡げたことで、国内で流通するサーバ製品の大半に対応できることになる。

今回のサービスでは、メーカー保守契約ができなくなった富士通製サーバに対し、①修理部品を配送する「EOSL/EOL パーツ保守」②エンジニアが訪問修理する「EOSL/EOL オンサイト

保守」③オンサイトスポット修理対応——という3つのメニューを用意した。

「パーツ保守」では14時までの受付分は当日中に、それ以外は翌営業日までに必要パーツが発送される。東京都近郊全域を対象としているが、それ以外の場所でも相談に応じて対応しており、関西・九州・北海道での対応実績がある。

「オンサイト保守」は全国を対象に24時間・365日の対応も可能となっている。

メーカーの保守サービス料金よりも安価で

データライブは第三者保守ベンダのため、EOSL製品に対しても複数年に渡ってサーバ保守や保守部品供給を継続することができる。また、24時間365日配送可能な物流体制を構築するだけでなく、北海道から九州まで、パートナー企業を含めて200人以上の常勤



富士通 PRIMERGY サーバ保守の紹介ページ

メンテナンススタッフも揃えている。

特に富士通のPRIMERGYサーバについては、既に供給体制が出来上がっており、メーカー保守期間終了後も修理を行うことは難しくない。

また、同社保守サービスの料金は、通常のメーカー保守よりも安いケースが多い。現在のシステムを安価に使い続けられるメリットがあるため、顧客数は年々増加している。

■お問い合わせ

データライブ株式会社

TEL : 03-5684-5413 <http://www.datalive.co.jp/>